

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第2区)

東京都選挙管理委員会

経済のプロ
木内
たかたね

プロフィール
木内孝胤(きうち たかたね) 元衆議院議員
昭和41年生まれ。成蹊中・高、慶応義塾大学経済学部卒業。東京三菱銀行(ロンドン支店)、営業本部、メリルリンチ証券(投資銀行部)マネージングディレクターを経て衆議院議員(2期)。
財務金融委員会理事、外務委員会理事等歴任。

曾祖父・渋沢栄一(新1万円札)、
高祖父・岩崎弥太郎のDNAを引き継ぐ

徹底的にコロナと戦う! 日本を救う

日本人の底力を信じ、真の「自由主義の再興」を

三十年間ゼロ成長、所得2割減、貧困率16%。無駄遣いに歯止めをかけず消費低迷でも増税強行の政府。国民の底力を信じる「減税」と「規制撤廃」こそが真の自由主義につながります。

VS コロナ政策

- 指定感染症2類から5類に変更
- PCR陽性数ではなくICU使用率50%指標
- 財政支援で医療のコロナベッド倍増
- 死者数減のために医療者に対して毎週PCR
- ZeroコロナからWithコロナへの転換

人づくりなくして国づくりなし SDGs 自然との共生

日本が誇る資源は人材です。しかしOECD諸国の中で教育予算が最低水準。子供たちへの投資こそ最高の投資と位置づけ、初等・中等教育の無償化を目指します。

現実的外交・安全保障

「経済外交」を外交安全保障の基軸とし、米中の分断を加速させるのではなく、世界平和の扇の役割を担う経済再生と存在感を取り戻します。

新・所得倍増計画

真の自由主義経済へ転換するには消費増減税と大胆な規制撤廃が必要である。また、対日投資の設立で世界に逃げていく「ヒト・モノ・カネ」を日本へ呼び戻します。

日本維新の会
木内
たかたね

立憲民主党
ただ、ひとのために

松尾あきひろ

東京大学法学部卒
元 NTT 社員
弁護士 (46歳)
前衆議院議員



【プロフィール】
東京生まれ。東京大学法学部卒。元 NTT 社員、IT企業の代表取締役を経て、松尾千代田法律事務所代表弁護士。2020年衆議院議員。学生時代はバレーボール部に所属。親子三代巨人ファン。電車が好き。身長187cm、体重73kg、靴のサイズ28cm。何事も前向きにとらえ、諦めない性格です。

街頭演説日程
政策情報はこちら
matsuokaakihiro.jp

立憲民主党公認
松尾
あきひろ

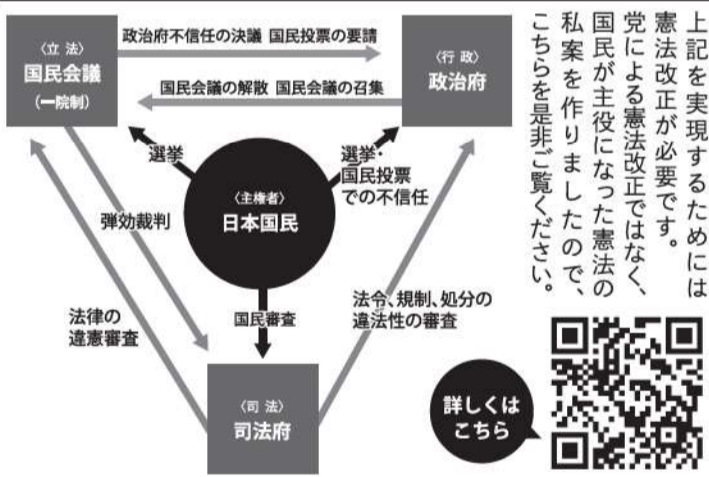
- 基本政策**
- 1 全ての人の所得を増やす
 - 2 年金を減らさない
 - 3 高校・大学の無償化
 - 4 多様性の尊重
 - 5 透明で公正な社会の実現

これぞ政治で変えられます。

実は、当たり前のことが、当たり前になる政治が実現できれば、これら全て変えられます。ウソ、隠れ、改革なき政治を変える。そして、私たち一人ひとりの暮らしを豊かにする政治、国の活力を取り戻す政治を一緒に実現していきます。

- 本当に、このままでいいんですか？**
- 一、給与が足りない
日本人の収入は20年で0.4%増(購買力平価)と横ばいです。これは先進国で日本だけです。格差拡大も深刻です。
 - 二、コロナ対策
新型コロナウイルス感染症の政府の対応は遅くはく、優秀な国民頼りの対策でした。
 - 三、年金・老後
年金保険料は上がり続け(厚生年金で2004年比35%増)支給額は減り続けています。老後資金は2千万円必要です。
 - 四、高すぎる教育費
大学の授業料は1.55倍(1967年比国立法文系)に跳ね上がっています。
 - 五、多様な社会
選択的夫婦別姓、LGBTQ+、外国人技能実習生、男女平等は、議論ばかりです。

あたらしい政治システムを作ろう!



憲法改正について

上記を実現するためには憲法改正が必要です。党による憲法改正ではなく、国民が主役になった憲法の私案を作りましたので、こちらを是非ご覧ください。

新しい政治システム案について。

左の図にありますが、一番の改革は、行政を司る政治府を国民の直接選挙で選ぶということです。国民投票により辞めさせることも可能です。これにより、国民と行政の距離をより身近にしていきます。

国会は一院制に改め、議員数を削減するとともに、行政とは一定の距離をおき、互いに監視できる体制を作り、より三権分立を強めていきます。これまでは、各地方の利益代表であった国会議員が国政までを担うことにより、地方への利益誘導なども多くみられました。行政は国政に専念し、国会は地方の利益を代表し、国政を見張るという政治体制が整うこととなります。

現行の政治制度では、国会における多数党がそのまま内閣を組織するため、わたしたち国民には政治のトップを選ぶ権利がありません。政治は、政党の利益、戦略が優先され、そのためにばら撒き政策がとられたりしますが、そのお金は未来からの借金に他なりません。政治を変えるためには、まずこのシステムを新しくしてはならないのです。

コンピューターに例えるならば、最新のOSに入れ替えなければ機能しない時代になったのです。

神出
一郎

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日10月31日(日) 午前7時から午後8時まで

- ・ 期日前投票期間 10月20日(水)～10月30日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・ 期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- (期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

※ 新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第2区)

東京都選挙管理委員会



北村イタル PROFILE

昭和58年生まれ(38歳)
 平成14年 早稲田大学高等学院卒業
 平成18年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
 マーチャント・バンキング部門でアナリストとして勤務
 平成19年 ゴールドマン・サックス・グループ入社
 ゴールドマン・サックス・グループ退職
 ワンアイド・キャピタル・アドバイザー入社
 常務取締役、投資銀行部門ディレクターとして
 仙台に拠点を置くベンチャー企業に入社
 平成22年 米社、ラサール・インベストメント・マネジメント入社
 外資系不動産投資ファンドに入社、アクイジション部門、
 最終役員シニア・ヴァイス・プレジデント
 令和2年 れいわ新選組衆議院東京都第2区総支部長に就任、
 ラサール社を退職

愛犬ふたりと暮らす。妻は文京区議会議員を務める宮野ゆみこ(無所属)、
 亡き父は、サンデー毎日編集長や週刊金曜日編集長を歴任した北村肇。

「あなたへの投資」で日本経済を守る

失われた内需を取り戻す。消費税は廃止、デフレ脱却給付金、国による家賃補助、
 児童手当倍増、社会保険料負担軽減、安定雇用1000万人…等々。

子どもたちへの投資は、未来への投資

教育費無償化は当たり前。給食費を無償化。奨学金の返済は免除。教育環境への
 積極投資で、インクルーシブ教育を推進、教員の増員と少人数学級を実現。

原発即時廃止。自然エネルギー100%社会へ

原発即時廃止、石炭火力発電を2030年までに廃止し、
 2050年までに自然エネルギー100%社会を実現。

東京の「都市防災」力を最大限に

防災庁を創設。住宅密集地、大規模マンションの防災力を向上。
 インフラ喪失時でも速やかに日常に復帰できる東京へ。

あなたが、あなたらしく生きられる社会へ

あらゆる差別のない社会を実現。「合理的配慮」を徹底し、共生社会の礎に。
 あなたを支える公助がある。誰もが自分らしい人生を謳歌できる社会へ。

詳しい内容はホームページをご確認ください ▶ <https://itaru-k.com>

あなたの力で、
 未来は変えられる



私が、あなたの声になる。
 私には、聴かなければならない声がある。
 生きづらさや息苦しさを感ぜながら、抱えながら、
 日々この国を生きている方々の声。
 声を上げられない、声を上げることがあきらめている、
 そんな方々の声なき声。
 あなたがもし、社会に生きづらさや息苦しさを感ぜているのであれば、
 あなたがバンクしてしまいう前に、あなたの声を聞きたい。
 私が、北村イタルが、あなたの声になります。
 「自己責任」や「自助」といった言葉が押し付けられる現代社会。
 そんな社会を、未来を歩んでいく世代には残せない。
 私には、未来に残したい日本がある。
 あなたに降りかかるあらゆる不条理や理不尽から、
 あなたの命と生活を徹底的に守り抜く国。
 あなたの力を、北村イタルに貸してください。



北村イタル
 38歳

自民党公認 公明党推薦

辻 清人 略歴

- 昭和54年9月7日(満42歳)
- 東京都、4~17歳までカナダ、
25~32歳までアメリカ在住
- 京都大学経済学部卒業
- 米コロンビア大学公共政策大学院修了
- 妻、娘(6才)、息子(4才)
- 英検1級、TOEIC満点
- (職歴)
- 株式会社リクルート
- 米戦略国際問題研究所(CSIS)
- TOKYO 自民党政経塾7期生
- 2012年12月第46回衆議院総選挙に
て初当選以降3選
- 2018年10月第4次安倍改造内閣にて
外務大臣政務官
- 2020年9月自由民主党遊説局長に就任

推薦人

- 元通産大臣 **深谷 隆司**
 台東区長 **服部 征夫**
 文京区長 **成澤 廣修**
 中央区長 **山本 泰人**
 港区長 **武井 雅昭**

我が国を取り巻く国際環境が一層厳しさを増す中、外交・安全保障の専門家として、国益を守り抜く施策を敢行。

国益を守る外交戦略

無料PCR検査や簡易検査キット等の活用による経済社会活動の再生。
 地域や業種を限定しない、幅広い事業者支援策。
 経済的弱者や子育て世代を対象とした給付金の創設。

暮らしを守る経済政策

命を守るコロナ対策
 希望する全ての皆様へのワクチン接種。
 国産ワクチン並びに経口治療薬の早期開発・提供。医療体制の拡充。

世代交代 未来への責任を



辻清人
 42歳

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日10月31日(日) 午前7時から午後8時まで

- 期日前投票期間 10月20日(水)~10月30日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- 期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

※ 新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

特例郵便等投票

※ 新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できます。

投票用紙の請求期限 10月27日(水) 午後5時まで
 投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページでご確認いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内: <https://www.r3syuugiinsen1.metro.tokyo.lg.jp/>